

支えあう社会をめざして 今、考えよう 人権について

人権って何だろう？
「人間らしく生きる権利」です。

時代や社会の変化につれて、人権に対する考え方が多様化してきています。幸せを求め、人間らしい生活を守るため、私たちの人権感覚を養い、人権意識を高めましょう。

市内の小中学校では、人権教室が実施されています。昨年、参加した子どもたちの標語と感想文の一部をご紹介します。

『標語』

「ねえみんな ばかばかことばで はなそうよ」
(小学校二年生)

「うれしいな 心に残る ありがとう」
(小学校五年生)

「かわらなきや 友だちじゃなく 自分から」
(小学校六年生)

「同じだよ あなたも私も 生きてるの」
(中学校三年生)

『作文』

「人の気持を考える」
(小学校五年生)

私は、自分も人にいやなことを言われたこともあるけど、自分も友達に、いろいろないやな言葉を言ったことがあります。自分が言われてイヤだった言葉は「○○○」です。

全国では、いやなことを言われて自殺した人もいます。平気で人のいやなことを言う人は、言葉で人の心がきずつくことを知らないのかなと思います。いじめでなくなった人もいっぱいいます。

言葉で人をきずつけてしまうので、人にいやなことを言ったり、したりするのは、ぜったいいけないということ、人権の学習をしてわかりました。



「マザーテレサ」を読んで
(小学校五年生)

わたしは、自分の人生を貧しい人にささげるなんて、本当によくない人だと思っています。カルカッタでは、学校に行けない子ども達のために、青空教室を開いて学ばせました。こんなことは、ほかの人は思いつかないだろうなあと、とても感心しました。

他にも「死を待つ人の家」をつくて、もうすぐ死んでしまう人達に安らかにねむってもらおうと思ったテレサは、とても他の人よりもやさしさがあると思いました。

そして、子どものための「孤児の家」は、テレサが子どもが捨てられるのを見たのがつくるきっかけになりました。テレサは本当に他の人のことを考え、子どもから大人までいろいろな人に尽くしていて、とてもすごいと思いました。

わたしは、そこまですごいことはできないけれど、下級生などにやさしくしたり、物を大事にしたりするなど、身近なことからはじめようと思います。

多久市同和問題講演会

と き 平成19年 8月22日(休)
開場13:30 開演14:00
講 演 演題『テレビ寺子屋』から学んだこと
講 師 松田 朋恵さん(フリーアナウンサー)
ところ 多久市中央公民館 大ホール
入場料 無 料
問い合わせ 多久市教育委員会 生涯学習課
☎74-3241
多数の皆さんのご来場をお待ちしております

問い合わせ

人権・同和对策課 75-4824

人権擁護委員のみなさん(敬称略)
市丸 悦子(藤川内上) 74-2861
草津 浩明(筋原) 75-3243
土橋 哲也(駄道) 76-3640
宮本 智昭(仁位所) 76-2737
岩井 富子(東町) 75-4671
土井征一郎(山犬原) 75-2607

毎月一回、人権相談を行っています
(市報の裏表紙をご覧ください)

8月は
佐賀県同和問題
啓発強化月間です